

キャラクター名 グレイブス・ヴァーミリオン	プレイヤー名
--------------------------	--------

種族	ライカンスロープ	種族特徴	暗視/獣人の力/獣化/弱点(銀+3)		
生まれ	斥候	性別	男	年齢	70
冒険者Lv	9	経歴	神の声を聞いたことがある		
経験点	230		大きな挫折をしたことがある 蛮族の名誉を汚された		

技	7	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	14	7		28	4				
体	8	敏捷度	7	8		22 + 2	4	プリースト/グレンダール	4		
		筋力	8	2		18	3	フェアリーテイマー	2		
心	7	生命力	14	5		27	4	スカウト	7		
		知力	8	9		24	4	エンハンサー	5		
		精神力	4	2		13	2	アルケミスト	2		

戦闘特技				言語			会話	読文
追加攻撃	220 p			交易共通語		○	○	
投げ攻撃	225 p			汎用蛮族語		○	○	
カウンター	2120p			魔動機文明語		○	○	
鎧貫き	1B39 p			妖精語		○		
トレジャーハント	2120p			ライカンスロープ語		○	○	
ファストアクション	2123 p							
魔力撃	1B39 p							
両手利き	1B32 p							
二刀流	1B30 p							
頑強	1B29 p							
魔力撃強化	1B32 p							

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		
マッスルベアー		
ビートルスキン		
メディテーション		
スフィンクスノレッジ		
ケンタウロスレッジ		
クリティカルレイ		
ヴォーパルウェポン		

技能	技能 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グレイブス	9	13	13	12
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク				筋力	回避力	防護点
鎧	アラミドコート						1	2
盾								
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)								
回避技能	グレイブス	合計値					14	2

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ハードノッカー	1H	5	1	2d+ 15	10	12	10											
グレイブス専用、パンチ強化																		
ドルディーン	1H			2d+ 14	9	12	5											
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														
				2d+														

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3 m	26 m	78 m	2d+ 14	2	71	神聖魔法	4	8			
						妖精魔法	2	6			

装備品	説明	装備品	説明
頭 カウンターオブアミュレット			
耳 カウンターオブアミュレット			
顔 聖印			
首 ポーションインジェクター			
背中			
右手 グレンダールの火炎拳			
腰 アルケミーキット			
足 宝石ケース	光、闇ランク 2 まで		
その他 敏捷の腕輪			

その他メモ	自動失敗
ライカンスロープの老拳闘士。戦闘狂であり、武人だった(過去形)。若い頃に自ら進んでライカンスロープの儀式を受け、ダルクレムを信仰して蛮族軍として戦っていた。しかし、ある時人族の軍と戦い、戦えないものを守りながらの劣勢に立たされる戦いでありながらとある騎士に敗北するはめになった。敗れた拳闘殺されもせずに敗走し、グレイブスの蛮族としての名誉や今までの生き方を考えさせられる結果となった。グレイブスは考えた果てにグレンダールの声を聞き、弱者を守るために力を求め、奮うのだという騎士の生き方を理解した。その騎士の元へと再び赴き、蛮族軍を裏切って人族側につくことにした。ダルクレムの信仰もその時に捨て去り、身一つで蛮族でありながらまた再び1から己が自身を鍛えあげることにしたのである。	チェック □□□□⑤ □□□□⑩ □□□□⑱ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕
それから数十年が過ぎ、彼もまた絶頂期を過ぎて緩やかに老い始めた。人族の軍を引退し、隠居して身寄りの無い子どもたちを引き取り孤児院を開き始めたのもこの頃だ。彼は確かに武人としての一生を全うしたが、力を闇雲に求める蛮族ではなく、人々を守る1人の軍人としての姿がそこにあった。	

